

## 溶連菌(ようれんきん)感染症って？

最近からやっと冬らしい季節となりました。現在クリニックに来られる患者さんは、嘔吐や下痢の急性胃腸炎の子が最も多く、ゼコゼコ、ゼーゼーの喘息性気管支炎の子も増えてきました。そして時々、発熱とどの痛みを訴える溶連菌感染症の子がいます。溶連菌とは、A群β(ベータ)溶血性連鎖球菌の略名です。

### どんな症状なの？

幼児から学童児に多く、季節的には冬場に流行します。潜伏期間は2~5日です。

- ① 発熱、のどの痛み、のどちんこが真っ赤になります。(咽頭炎・扁桃腺炎)
- ② 舌の表面がイチゴのようにブツブツしてきます。(イチゴ状舌)
- ③ 発熱から2~3日後、赤い細かい発疹が全身に出ます。(全身発疹)
- ④ 上記の症状が消えた後(1週間以降)に手の指先から皮がむけ出します。



### 診断方法は？

以前は採血や咽頭の細菌培養で診断までに数日間かかりましたが、現在は迅速診断キットがあるため、綿棒でのどをこすり10分以内で診断が可能となりました。

### 溶連菌感染後の合併症とは？

- ① 急性腎炎：溶連菌感染後、3~4週後に起こる。むくみ、血尿、高血圧が特徴です。現在はほとんど見られなくなりました。
- ② リウマチ熱：多発性関節炎、心臓弁膜症がありますが、これも現在は皆無です。
- ③ アレルギー性紫斑病：下肢に紫斑、激しい腹痛があり、時に紫斑病性腎炎を併発します。これも現在は少なくなりました。

### 治療は？

溶連菌感染が診断されれば、普通の抗生剤を2~3日飲めば症状は改善されます。但し、昔から上記の合併症を予防するために、抗生剤(特にペニシリン系)を10~14日間飲むことが奨められています。(合併症がほとんど見られない現在でも、長期の服用が必要なのか個人的には疑問ですが。)念のため3~4週間後に腎炎が起こっていないか尿検査のチェックが必要でしょう。

### 家での対処は？

のどの痛みのため食欲が落ちます。のどごしの良い、刺激の少ない物をこまめに与えてください。

### いつから学校、保育園に行ってもいいの？

抗生剤を2~3日服用した後、発熱や発疹が治まっていればOKです。

さて、1月末からインフルエンザの子が受診するようになりました。これから流行するかもしれませんので、手洗い、うがい、人ごみには近づかないよう注意してください。(たまなは)